

事業計画書  
収支予算書

自 令和 03 年 4 月 1 日  
至 令和 04 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

住 所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3  
電話番号 090-9631-1610

# 令和3年度事業計画一覧

	森林整備 保全事業	間伐材工房 運営事業	木質バイオマス 普及事業	木育等木づかい 普及事業
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林・山村多面的機能発揮対策事業(林野庁)</li> <li>2. 原木しいたけ用ホダ木生産事業の安定化</li> <li>3. 既存作業路網の整備保全及び修復</li> <li>4. クリ・コナラ等、大径木の用材としての出荷の試み</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「木のたまごコロロ」の発展形としての新商品、樹種別の「木のたまごの缶詰」の商品化を年度内に実現し、併行して地域の道の駅・アンテナショップ等の新たな販路を開拓</li> <li>2. 岩泉町ふるさと納税返礼品としての需要の掘り起こし及び「木のたまごプール」受注増に繋がるアプローチ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岩手県・宮城県の薪ストーブユーザーへのアプローチの強化にて、年度内プラス3件の獲得を目指す</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナ感染状況及びワクチン施主状況等見ながら、前年度実施した「遊び体験デモ」を、5施設での開催目標に秋口～冬季期間実施したい。対象エリアは宮城県・岩手県</li> </ol>
事業内容の詳細	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岩手県岩泉町上野芸地域での原木しいたけ用ホダ木生産を、交付金を使い実施</li> <li>2. 「1」同様、原木しいたけ用ホダ木生産事業。前年から着手した林班は、既存作業路が縦横無尽につけられており、修復をしながら搬出経路を確保。また、搬出しにくい場所については、伐採～搬出を外部委託で賄う事も考慮</li> <li>4. 今迄は搬出作業が現状の装備や体制では難しいと考えて避けていた施業にチャレンジしたい。クリやコナラ等市ニーズがある24cm上の太めの立木を、用材として出荷できればホダ木生産にとってもプラス効果が期待できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「木のたまご缶詰」のラベルと蓋用樹種別シールデザイン及び使い方の提案を、盛岡市内の専門学科がある孤高に協力依頼済み。学校の授業の一環で協力にて学校が全面的に協力。若い学生たちのSNS等からの情報発信にも期待。</li> <li>2. 前年度からスタートした、岩泉町ふるさと納税返礼品需要を、地域での道の駅他販路開拓と絡めて安定的な出口となるよう、町役場との殿関係性強化をはじめ地域発疹を前面に出すながら認知度&amp;需要アップに繋げる。また、前年度実施した「遊び体験デモ」の幼保施設を中心に、「木のたまごプール」や「ログキッズ」の受注獲得の拡大を目指す</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮城・岩手両県全域を中心に、薪ストーブユーザーへ果敢にアプローチをし新たな薪ユーザーの安定顧客確保に繋げる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本年度も、コロナ禍の終息が見えない状況の為にイベント等への出店は困難が予想されるが、オリンピックが開催され、ワクチン摂取が拡大した後、今までのネットワークを駆使して「遊び体験デモ」の開催に繋げたい。また、ずっと出来ない継続的な情報発信を、今年度は何とか前に進め普及に繋げたい</li> </ol>
実施時期	通年：年間延べ日数約100日	2021年8月～2022年2月	薪作り・原材料保・薪の販路開拓は通年	11月～2月の中で5日間
実施場所	岩手県岩泉町	宮城県全域 岩手県全域	宮城県全域 岩手県全域	宮城・岩手県全域
実施予算	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・2 : 5,600,000円</li> <li>3 : 200,000円</li> <li>4 : 200,000円</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3,200,000円</li> <li>2. 100,000円</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 300,000円</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 200,000円</li> </ol>
備考欄	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 林野庁補助事業</li> <li>2. 自主事業</li> <li>3. 自主事業</li> <li>4. 自主事業</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自主事業</li> <li>2. 自主事業</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自主事業</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自主事業</li> </ol>

# 令和2年度（次年度）特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

令和02年4月1日から令和元年年3月31日まで

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

科目	金額(単位：円)		
1 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	¥ 100,000		
学生正会員会費収入	¥ 0		
賛助会員会費収入	¥ 0		
		¥ 100,000	
2 事業収入			
森林整備保全事業収入 (ホダ木生産事業・林野事業)	¥ 4,500,000		
木質バイオマス普及事業収入 (薪ストーブ販売&設置工事等・原木&薪販売)	¥ 1,100,000		
間伐材工房運営事業収入 (間伐材加工品販売・受注製作等)	¥ 2,700,000		
木育等木づかい普及事業収入 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 100,000	¥ 8,400,000	
3 補助金収入	¥ 4,500,000	¥ 4,500,000	
4 寄付金収入			
当期収入合計(A)			¥ 13,000,000
前期繰越収支差額			¥2,993,798
収入合計(B)			¥ 15,993,798
II 支出の部			
1 事業費			
森林整備保全事業支出 (ホダ木生産事業・林野事業)	¥ 6,000,000		
木質バイオマス普及事業支出 (薪ストーブ販売&設置工事等・原木&薪販売)	¥ 300,000		
間伐材工房運営事業支出 (間伐材加工品販売・受注製作等・販路開拓)	¥ 3,300,000		
木育等木づかい普及事業支出 (ワークショップ。出前講座・イベント等)	¥ 200,000	¥ 9,800,000	
2 管理費			
人件費	¥ 744,000		
その他経費	¥ 700,000	¥ 1,444,000	
当期支出合計(C)			¥ 11,244,000
当期収支差額(A)-(C)			¥1,756,000
次期繰越収支差額(B)-(C)			¥4,749,798

# 令和3年度事業計画書①

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

## 事業実施の方針

### 1. 森林整備保全事業

#### 林野町補助事業を活用した原木シイタケ用ホダ木生産事業安定化及び大径木伐採

岩泉での事業活動が5年目を迎える。本年度も、計画上は3月まで年間を通して実施する計画であるがあくまで天候(積雪)次第である。本年度ホダ木生産目標は、昨年実績の12,00本は現状厳しいが(納品先確保)、今まで出荷してきた林班の整備を含め、次につながる施行も着実に実施してゆきたい。幸いにも、当方人が納品しているしいたけ農家さんはコロナの影響は受けておらず、新たな納品先の確保も並行して実施してゆく。また今迄の岩泉での4年間は、直径24cmを超える太い立木は搬出が困難な為手をつけていなかったが、今年度から伐採しホダ木生育環境の向上も目指す



### 2. 間伐材工房の運営事業

#### 「木のたまごコロロの缶詰」の新商品開発と販路開拓

年度内に「木のたまごコロロ」の発展的新商品として、たまごプールには使えない小さなコロロを閉じ込めた樹種別の缶詰の商品化を計画している。5年前に1度商品化を考えサンプル缶製作まで行なったが、その当時は中に入れる魅力的な木製品が作れていなかった為商品化を諦めた経緯がある。今回、約40種類の樹種別のコロロを、同じ樹種の匏屑をクッション材として詰め巻き締めをし缶詰にする計画。真空状態で密閉された缶を開けた時の夫々の木の香りと保存性が期待できると考える。ラベルや樹種判別用のシールデザインと使い方の提案を、盛岡市内のデザイン系の高校生(学校の全面協力)お願いしており秋口には試作品を予定。



# 令和3年度事業計画書②

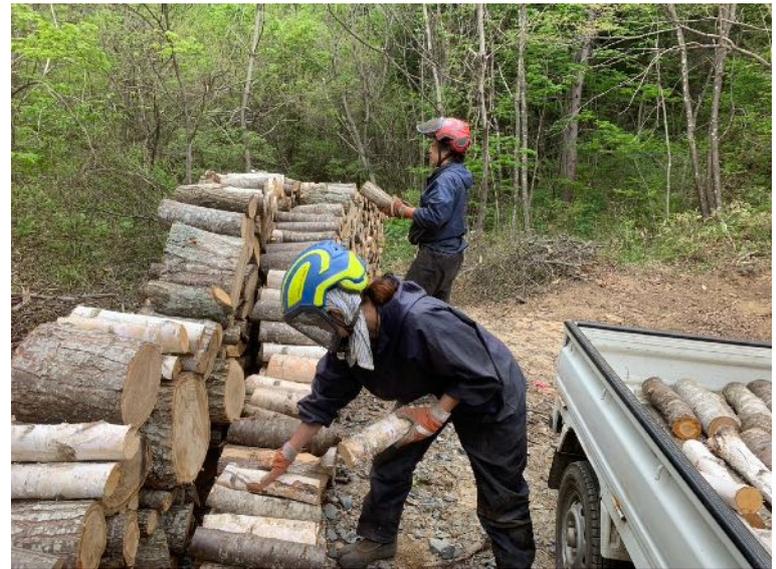
特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

## 事業実施の方針

### 3.木質バイオマス普及事業

#### 薪の新たな販路開拓に特化

今年度も新型コロナの影響で、薪ストーブ普及活動は難しいと現状判断。岩泉に行く際の三陸道も全面開通した為、盛岡経由より時間短縮が図れる様になった。三陸道沿線の戸建て住宅を見ると、煙突のある家が散見される為、今年度は薪の新規顧客獲得に特化してゆく。間伐材ステーションの薪棚も増設し約100㎡迄キャパがupした為、年度内に5件の新規客獲得を目指す。現在の固定客は10件に加えトータル15件に増やすことを目標に普及活動を実施してゆく。



### 4.木育等木づかい普及事業

#### 前年度好評を博した「遊び体験デモ」の開催継続

幼保施設における子ども達を対象とした「木製遊具を使った遊び体験デモ」は、コロナ感染のリスクが薄まればかなり高いと昨年度実施してみて実感している。まして、無償での出前講座で施設の予定に合わせて開催可能となれば尚更の様である。間接的に、開催施設での木製品導入のキッカケになることも多く、コロナ感染状況を見ながら秋口以降にアプローチをしたい。昨年は岩手県で実施したが、本年度は宮城県を中心に施設毎にアプローチし開催できればと思っている。昨年同様、4~5種類の遊びのアイテムを持参して開催をしたい。

